

気候情報

2014年3月の日本の天候

- 月の前半は全国的に低温
- 月の終わり頃は北日本から西日本にかけて高温
- 北日本から西日本にかけて月降水量が多かった。

3月の天気概況

月を通して日本付近を低気圧と高気圧が交互に通り、全国的に天気は数日の周期で変わった。月の前半は、日本付近に強い寒気が流れ込んだため全国的に低温となった。特に上旬の後半から中旬のはじめにかけての気温は全国的に平年を大きく下回り、東・西日本日本海側の山沿いや北日本では大雪となった所があった。月の後半は、北日本から西日本の所々で大雨や北日本太平洋側を中心に大雪となるなど大荒れの天気となった。北日本から西日本にかけては月降水量が多く、特に、東日本日本海側の月降水量の平年比は168%と、3月としては1946年の統計開始以降で最も多くなった。また、月の終わり頃は、北日本から西日本にかけての気温が平年を大幅に上回った。

上旬：低気圧が数日の周期で日本付近を通過した。特に旬の後半は冬型の気圧配置が強まり、東・西日本日本海側の山沿いや北日本では大雪となった所があった。旬平均気温は、北日本から西日本にかけて低く、沖縄・奄美は平年並だった。旬降水量は、北日本、東日本太平洋側で多く、西日本日本海側では少なかった。東日本日本海側、西日本太平洋側、沖縄・奄美は平年並だった。旬間日照時間は、北日本日本海側、東日本、沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側、西日本は平年並だった。

中旬：北日本から西日本にかけては、大雨や北日本太平洋側を中心に大雪となった所もあった。特に、東日本日本海側は旬降水量の平年比が236%となり、1961年の統計開始以降3月中旬としては最も多かった。また13日には、屋久島(鹿児島県)で日降水量が334.5mmとなり3月としては歴代全国1位を更新した。旬平均気温は、西日本で高く、沖縄・奄美では低かった。北・東日本は平年並だった。旬降水量は、北日本から西日本にかけて多く、特に北日本太平洋側、東日本日本海側ではかなり多かった。沖縄・奄美は平年並だった。旬間日照時間は、北日本太平洋側、東日本日本海側で少なく、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美では多かった。北・西日本日本海側は平年並だった。

下旬：旬のはじめは、冬型の気圧配置が強まり、全国的に強い寒気の影響で、北日本太平洋側では暴風雪となった所もあったが、その後、北日本から西日本にかけての気温は平年を大幅に上回った。特に、東日本では旬平均気温の平年差は+2.5°Cとなり、1961年の統計開始以降3月下旬としては最も高かった。東・西日本日本海側の降水量はかなり多く、特に、東日本日本海側では旬降水量の平年比が189%と、1961年の統計開始以降3月下旬としては最も多かった。旬平均気

温は、北日本から西日本にかけてかなり高く、沖縄・奄美は平年並だった。旬降水量は、東・西日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側で多かった。東日本太平洋側、沖縄・奄美では少なかった。北日本日本海側、西日本太平洋側は平年並だった。旬間日照時間は、全国的に多く、特に東日本太平洋側ではかなり多かった。

3月の気候統計

月平均気温：東・西日本で高かった。沖縄・奄美で低かった。北日本は平年並だった。

月降水量：北日本から西日本にかけて多く、特に北日本太平洋側、東日本日本海側でかなり多かった。

月間日照時間：東日本太平洋側、西日本で多かった。北日本、東日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

3月の記録(1位更新のみ)

- ・月降水量の多い方から(mm)
山形 154.5 仙台 162.5 福島 157.5 など7地点
- ・月降水量の少ない方から(mm)
北見枝幸 24.5
- ・降雪の深さの月合計の多い方から(cm)
網走 131 根室 113 函館 97 など4地点
- ・月最深積雪の大きい方から(cm)
根室 115]

(注) 値の横に] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す(資料不足値)。

2014年3月の平年差(比)図

